

竣工年 用途	施設名称 [所在地/設計者] 遍歴	Before 撮影年/撮影者or出典	After 撮影年/撮影者or出典	経緯・概要 継承のKeyword:人、条例、コンセプト	関連画像
1913 事務所 →店舗・ギャ ラリー	上野海運ビル(旧三菱合資会社若松支店) [40 福岡県北九州市若松区本町1/保岡勝也] 1913:三菱合資会社若松支店として竣工 1969:上野海運取得 2012:有形文化財建造物に登録		 Website	建築: 鈹洋煉瓦による煉瓦造3階建の建物で、玄関部1階が 増築されている。最上階部も改造されているため、補修が施 されていない壁部分や窓廻りに当初のデザインが残っている。 竣工当時の姿をとどめながら、1階は上野海運の事務所 として使用され、2~3階にはカフェやデザイン事務所などが テナントとして入居している。 竣工時の姿を残す:	 2016/Kirihara
1919 倉庫 →カフェ・物 販	質屋の倉庫 [01 北海道札幌市南4条西9丁目1009] →Lakura		 Website	経緯: "レンガ造りの蔵でお店を開きたい"というオーナーが 探し当てた蔵を改造。 資料: ウェアハウススタイル	 内部 ウェアハウスス タイルより
1920 蔵 →美術館	蔵 [08 茨城県古河市中央町2-4-18] →篆刻美術館 1920: 商家の石蔵として建造 1991: 美術館として開館		 Website	・概要: 大谷石で築かれた石蔵に別棟が増築され「篆刻・美術館として再生された。 色むらのある煉瓦タイルが施工された別棟が石蔵に調和している。[リノベーション名 建築の旅より抜粋] ・建物は通りに面した表蔵と、中庭を挟んだ南側の裏蔵から構成。表蔵は大谷石を 用いた石造3階建て・瓦葺・建築面積は29平方メートル。妻側に独特の意匠の開口 部を設けている。内部は1階を本格的な洋間とし、3階部分は吹抜けとして小屋組を 見せる等の改修が施されている。裏蔵は切妻造・2階建ての石蔵で、表蔵とあわせて 改修され展示棟となっている。[Wikipediaより]	
1923 事務所 →ホテル・レ ストラン	第一銀行別館 [13 東京都中央区日本橋兜町3] →K5 [CKR] 1923: 竣工 東京都中央区日本橋兜町3-4 : 郵船兜町ビル : 兜町第5平野ビル 2020: K5 マイクロ複合施設(ホテル、レストラン)		 2020/ Kirihara	建築・空間デザインを、スウェーデン・ストックホルムを拠点に活躍する建築家パート ナーシップ「CLAESSON KOIVISTO RUNE(以下:CKR)」が監修。築97年の歴史的 建造物の重厚感、北欧、和のテイストを絶妙なバランスでブレンドした。外観、躯体、 床のタイルに至るまで従来の素材を生かし、CKRの感性で解釈した日本らしさ「あい まい」をキーワードに様々な空間を仕上げている。[Websiteより]	
1927 洋服屋 →江戸切子	テーラー堀屋 →華硝 [三井嶺] 1927: テーラー堀屋 竣工 2015: リノベーション完成		 三井峯Website	「看板建築」の原状回復および耐震改修の計画。既存建物 は90年近い時を経て老朽化が著しく、一見した際は解体し かないと思えた。曳屋の技術をもって揚屋を行い基礎・土台 を一新。一般的な耐震補強では、1階は壁あるいは筋交い だらけになってしまい、間口いっぱいの開口をもつ原状の姿 を保つことは困難である。そこで、ダクタイル鉄製の門型フ レームを用いることで、間口方向の"抜け"を損なうことなく耐 震補強を行うこととした。[三井峯Websiteより]	

竣工年 用途	施設名称 [所在地/設計者] 遍歴	Before 撮影年/撮影者or出典	After 撮影年/撮影者or出典	経緯・概要 継承のKeyword:人、条例、コンセプト	関連画像
1928 新聞社 →事務所・展示施設・飲食	大阪毎日新聞社京都支局 [26 京都市中京区三条通御幸町角/武田五一] →改修 1928ビル[若林広幸] 1928:大阪毎日新聞社京都支局 開局 1999:京都支局が上京区河原町通丸太町に移転 1999:改修	 Website	 website	「毎日新聞」が「大阪毎日新聞(通称:大毎)」と呼ばれていた頃に、京都支社の社屋として建てられた建物。建築家・若林広幸が取得し改修工事を行うが、ビルの内外装ともに、未だに当時のままの状態で残り、一見「廃墟」のような雰囲気が漂う内装なのですが、これこそが今現在、このビルの最も大きな魅力となっている。	
1973 工場 →史料館	カモ井加工紙第三攪拌工場 [33] →カモ井加工紙第三攪拌工場資料館 [武井誠 + 鍋島千恵 / TNA]	 Website	 Website	・概要: マスキングテープなどの加工紙を扱う工場群のひとつを史料室と休憩ラウンジに改修した。2階の床には以前の以前使用していた機械の名残で規則正しく穴が空き、そこに新規の鉄骨柱が通る。柱、梁、2階床だけを残り新たな構造物を自立させている。[新建築Websiteより] ・ハイサイド採光のため既存建物から持ち上げられた屋根は新に設けた鉄骨柱で支えられている。	 史料館内部/Website
江戸時代～昭和 蔵 →芸術拠点	蔵 [10 群馬県桐生市本町2-6-32] 桐生市有鄰館 江戸時代～昭和:11棟の蔵群建設 1992:有鄰館へ 2006:改築		 Website	・概要: 桐生市桐生新町重要伝統的建造物群保存地区区内であり、かつては酒・味噌・醤油を醸造し、保管するために使用されていた江戸時代から昭和時代にかけての11棟の蔵群が、舞台や展示、演劇、コンサートなど街の芸術拠点として使用されている。	
明治時代 蔵 →店舗	蔵 →箔座ひかり蔵 明治期:建設 2004:改装		 Website	概要: 百年以上前から存在する土蔵を、左官と金箔、確かな伝統の技をもってこれまでにない存在として再生。外壁は漆喰の壁に塗り直し、純金とプラチナの合金箔「純金プラチナ箔 永遠色」で仕上げ、内壁は、本来の壁の土に沖縄の泥藍を合わせた上に、24Kの純金箔によるグラデーション。左官技能士・挾土秀平氏とのコラボレーション。[箔座のWebsiteより引用]	 内観
竣工年不明 倉庫 →店舗	倉庫 [09 栃木県宇都宮市下川俣町14-3] →PORUS [ビルスタジオ/塩田大成] 2012:改修 2013:4月 美容室「NEAT」OPEN、11月 残り店舗 OPEN	 Website/改修前	 Website/改修後 美容院	・リノベーション工事: まずは後から設置された外壁のスレート鉄板などの仕上材は撤去し、もとの大谷石倉庫の状態に戻す。もともとあった事務所小屋は再利用し、バックヤードに、高い天井を生かしてロフトスペース。内装は基本的に大谷石むき出し、鉄骨むき出し、屋根下地むき出し。 ・同じおもいが集まる: それぞれの店舗がこの大谷石倉庫を好き好きにリノベーションし、居心地の良い場所をつくりあげていました。立地や値段だけではなく、“同じ好み”を理由にひとつの場所に人が集まる。ショッピングモールのように詳細に計画されて集まったわけではなく、自然発生的集合。 ・資料: リノベーションデザインの木	